



1

おかやま

岡山県岡山市

農林漁業、農  
村文化体験

食育・教育

復興

うえだ てるよし  
植田 輝義

～農業を通じて皆様を繋ぐ架け橋になりたい！！～



全身黄色！自称黄ニラ&amp;岡パク大使として活動



黄ニラ祭りを提案・開催

## 経緯

- 初めて食した黄ニラのお味噌汁に感動し、脱サラして兵庫県から1999年に婿養子として岡山県の黄ニラ農家に就農。
- 就農の翌年からパクチー栽培に着手。黄ニラ&パクチーは無名の存在であったため、地産地消の向上とブランド構築のための活動を開始。

## 取組内容

- 全身黄色を身にまとい、自称黄ニラ&岡パク大使として、メディア(TV、ラジオ等)に出演し、産地のPRに取り組む。
- 黄ニラ&パクチー取り扱い飲食店増加計画とイベントやバスツアーを実施。
- 地産地消や学校給食への取組、支援学校、ケアハウス等と連携を強化し活動を展開。
- 個人事業主から農業生産法人(株式会社アーチファーム)を設立。設立直後、西日本豪雨で被災したが、壊滅状態から復興。

## 活動の効果

- 活動前まで、10パーセント未満だった黄ニラの地元(岡山)シェアは、活動開始から現在に至るまでに約35パーセントに増加。
- 2016年には、ぐるなび総研「今年の一皿 パクチー料理」岡山県大賞を受賞し、東京での授賞式には生産者として参加。翌年にはタイ国营放送から取材を受け、岡山パクチーのブランド力向上に貢献。

## 応募団体(者)からのアピール・メッセージ

西日本豪雨から新型コロナウイルスの影響を受けてしまいましたが、事態に順応し、困難に打ち勝つ農業法人 株式会社アーチファームは、農業と皆様をつなぐ架け橋として、農業に勤しみ、岡山県農業、そして日本の農業を支えるべく使命感を持って、力強く取り組みます。

岡山市北区牟佐3060 Tel: 0866-229-1129

くさまだい  
草間台エコミュージアム推進協議会

～発見草間台 発信草間台 進化草間台～



きのこ栽培体験講習会



情報発信 ホームページ更新

## 経緯

- 地域を自然や産業・歴史文化等の宝が豊富なエコミュージアム(屋根のない博物館)として捉え、資源を活かした地域振興を図ろうと考え、団体を立ち上げた(H22)。
- 里山の環境を維持・保全し、希少な動植物を保護するため、耕作放棄地の解消等が必要となっていた。

## 取組内容

- 「スターウォッチング」などのエコツアーやきのこ・そばの栽培体験(都市住民との交流)、鍾乳洞(観光鍾乳洞以外)の探検を実施。
- そばの栽培による耕作放棄地の解消、栽培体験ツアー実施、特産品の開発。
- フェイスブックやホームページを活用し、観光・イベント・農業体験案内等の情報更新を定期的に行い、地域内外への発信力を強化。

## 活動の効果

- 地元住民の耕作放棄地解消への理解が深まり、集落営農組織を設立。
- きのこ・そばの栽培体験、児童等を対象にした鍾乳洞探検を行う等、工夫を凝らしたイベントが県南部の参加者に人気。
- フェイスブック等を活用した情報発信により、地域外住民との交流が増加。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

エコミュージアムという捉え方で活動を広く発信しているが、市内の他の地域との連携も視野に入れ、更なる地域振興を目指す。草間台地や鍾乳洞を全国から訪れる研究者・ケイビングクラブ等との交流や地元小学生の「ふるさと学習」への支援などの活動を継続・発展させていきたい。

3

びぜん  
岡山県備前市環境保全・  
景観保全

ひなせちよう

## 日生町漁業協同組合

～アマモ場再生活動を始めて35年、継続は力～



日生藻場造成推進協議会メンバー



日生中学校アマモ種播種

## 経緯

- 昭和60年、地域の壺網（小型定置網）漁業者たちが漁業不振の原因を検討した結果、アマモの激減が要因であると推測。
- 当時の壺網代表者（前組合長本田和士氏）が壺網漁業者と青年部をまとめ、県の指導を受けながらアマモ場再生活動を開始。

## 取組内容

- 毎年、アマモの繁殖期に花枝採取～保管（葉や茎を海中で腐らせる）～10月頃種を選別し播種する取組を継続。
- アマモ再生活動は、日生藻場造成推進協議会（H21設立）124名で活動。
- 地元の小中学生や高校生、消費者団体との連携による体験活動を実施。
- 平成28年に「全国アマモサミットin備前」を当地で開催。

## 活動の効果

- 活動の継続により、徐々にアマモ場が広がり始め、当初の12ha（S60）から、250ha（H27）まで回復。
- 平成24年から消費者団体、平成25年から地元中学の生徒がアマモ再生活動に参加。平成28年より地元小学生や高校生も参加し活動の輪が更に広がっている。また、学校教育の一環で聞き書きを行うことで子供達の教育の場にもなっている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

アマモ再生活動を軸に人と人の係わり、環境教育、消費者意識の向上（魚食普及）に繋がる事を基本に、“備前発里海ブランドの確立”を目標に地域活性化の一助となれば光栄です。

備前市日生801番地4 Tel: 0869-72-1181

ひがしつるやまちく  
東鶴山地区を元気にする協議会

～交流と連携による地域の活性化～



ふるさとサロン



「花しょうぶ祭り」小学生招待

## 経緯

- 少子高齢化が進み、空き家や耕作放棄地の増加、山林の手入れが問題となった。
- 集落機能の維持・強化や地域の活性化を目的に「おかやま元気!集落」に登録。耕作放棄地、空き家や人口減少を食い止めたいと考えた。

## 取組内容

- 6月に「花しょうぶ祭り」を開催し、地区内外の交流の活性化を図っている。
- 耕作放棄地で野菜畑と栗園を管理、ニンニク、タマネギ等を栽培し、直売所、「ふるさとサロン」等で販売している。11月には「いも祭り」を開催。
- 月に1度「ふるさとサロン」を開催し加工品を提供している。また、月・水・金の週3回軽食喫茶室を開催、弁当の予約販売も実施。地区のお年寄りの交流の場となっている。

## 活動の効果

- 「花しょうぶ祭り」や「いも祭り」等のイベントの開催により、地域内外との交流機会が増え、地域の活性化に繋がっている。協議会で管理している野菜畑、竹林を活用し、野菜・たけのこの等の販売を通じて、地域の魅力を再発見し、活性化に繋がっている。
- ふるさとサロンの開催により、地元製品の加工品販売、昼食の予約販売を行い、女性・高齢者の活躍の場となっている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

海あり山あり里ありの豊かな自然環境を生かし、若者層の定住化、子育てのしやすい地域の形成、耕作放棄地・空き家の解消に取り組み、人口減少を食い止めていきたい。

5

せとうち  
岡山県瀬戸内市農林漁業、  
農村文化体験

移住・定住

もかけちく  
裳掛地区コミュニティ協議会

～地域から始まる、地域がはじめる、むらおこし！～



移住者受入れのための空き家を整備



移住フェア会場と地元をネット接続

## 経緯

- 近隣の小学校が閉校し、過疎化・高齢化傾向が一層危機的状況に。
- 地域住民によるコミュニティ協議会が、行事や耕作放棄地対策、獣害対策などを模索する中、H24年、「もかけむらおこしプロジェクト」発足。地域おこし協力隊との協力により、外部の視点を取り入れて、移住者増を目的に据えた村おこし活動を開始。

## 取組内容

- 移住者の受入による地域人口の維持を主眼に、情報発信や空き家等の整備、様々な外部との交流機会を創出。
- 地域独自の寺子屋「もかけてらこや」の開設や、小学校支援地域本部の設置を通じた支援なども実施。
- 道の駅を活用した映画上映、マルシェの開催等、地域資源を活用したコミュニティビジネスにより活動の幅を広げる。

## 活動の効果

- 地域誌の発行などにより、農業体験の受入れや地域行事への大学生ボランティアの受入れが、12回(平成27年度)から40回(令和元年度)に増加。
- 平成26年に補助事業で古民家を整備し、交流者や移住希望者、就農希望者の滞在場所として活用する拠点を整備。
- 当初は一部の有志のみだった活動が、地域住民、地域の企業・団体など地域全体に浸透し、移住者受入への姿勢や「地域でやろう」という意識が醸成。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

移住や交流を考えている方に対し、どのようなおもてなしをするかを地域全体で考えていることが、最大のPRポイント。移住者も増えた今、活動の継続による地域人口の維持、活動のための自己資金を継続確保するための仕組づくりに取り組んでいます。

瀬戸内市邑久町虫明2 (問合先 瀬戸内市役所内 Tel:0869-22-1031)

あわい  
栗井地区村創りの会

## ～絆とやすらぎの里 栗井村～



地域文化の伝承、田植え祭り



地域の子も達に伝える「とんど祭り」

## 経緯

- 地域の象徴でもあった栗井小学校の閉校（平成27年3月31日）のピンチを活性化のチャンスに変えようと、平成25年6月22日に地区の有志で理事会を立ち上げ、同年8月10日に全地区民を対象に設立総会を開催。
- 平成25年度から3年間、農山漁村の豊かな自然や「食」を、観光・教育・福祉等に活用した都市と農山漁村の交流に資する地域の手作り活動を支援する「都市農村共生・対流総合対策交付金」事業（集落連携推進対策）に取り組んだ。

## 取組内容

- 神式による田植え祭などの伝承・継承。
- 伝統的に伝わる行事（とんど祭り、ふれあいの集い、作東地域での「ふるさと祭り」への参加等）と「食」を併せて地域に根付かせる取組。
- 閉校校舎を活用した6次産業化への取組として、地域で栽培したもち米、大豆、栗井エゴマを使った加工品（餅、味噌、エゴマ油）の製造・販売。
- 「自分達の地域は自分達で守る。」を合言葉に、閉校校舎を活用した「ちょっとだけお助け隊」等の福祉活動を展開。

## 活動の効果

人口減少の昨今、伝統的に伝わる行事と「食」を併せた活動や福祉活動等を小字単位から地区全体での取り組むことで、集落連携を図ることができた。また、児童と保護者が一緒に行事に参加することで次世代への継承に繋がっている。今後「栗井地区村創りの会」が中心となり安心して、儲かる農業を目指して活動することで仲間が集まり、荒廃地の解消等にも繋がる。また、閉校校舎、「能登香の里小房」を更に活用することにより誘致客が増え、人の往来が活発化し、地区全体の活性化が図られる。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

栗井村の良さは地区民の団結力です。閉校校舎の活用を考えることから始まった「栗井地区村創りの会」ですが、農林水産省の事業を通して集落連携が進み、村民の繋がりが一層強くなりました。今後閉校校舎周りに施設を集め「小さな拠点づくり」を行い、住民への福祉と併せて高齢者や定住者も住みやすい村にするため、新しい物も取り入れ理想の「絆とやすらぎの里栗井村」の実現を目指します。

たなか みつこ  
田中 美津子

～おふくろの味を堪能したけりゃ、来てみられ！～



農家民宿 みっちゃん 夫婦



台湾高校教育旅行 ちらし寿司・浴衣着付け体験

## 経緯

- 吉備中央町地産地消推進協議会の会員として、町内の保育園児を対象にした食育事業に参加していた。
- 農業体験を通じた子供達とのふれあいに力を入れて活動する中で、農家民泊にも興味を持ち、農家民宿を開業することにした。

## 取組内容

- 田舎で本物のおふくろの味を味わってもらいたいという理念で受入を行っている。採れたての野菜で作る田舎料理の良さを体験してもらっている。
- 「何気ないお節介＝しつけ」年齢・性別や役職に囚われず誰にでもフラットな関係で接している。
- 宿泊者が第2のふるさとと思ってもらい、いつか本当に吉備中央町への移住につながることを目指している。

## 活動の効果

- 宿泊者数が少しずつ増加し、海外の教育旅行受け入れ数も増加している。
- 旬な体験がみっちゃん家でできない時には、地域農業者や農業生産法人と連携して受け入れを行うなど、地域農業者と多くの繋がりができた。
- 宿泊者の受け入れや町内の保育園・小学校の日帰り体験も行っている。

## 応募団体(者)からのアピール・メッセージ

地域の「ありきたりな日常」、「人」、「田園風景」、「食」について、そこを訪れた人にとってかけがえのない経験となり、また会いたくなる町づくりを目指しています。



きびちゅうおうちょう  
吉備中央町農家民宿推進協議会

～ 家族として受け入れる！～



特産品収穫体験の様子



台湾高級中学の教育旅行受入の様子

### 経緯

- 高齢化と農業機械の老朽化や農業後継者の不足及び耕作放棄地の増加が課題となった。
- 豊かな自然と田舎に暮らす人々の心の温もりを活かした特有の観光資源の発信のために、農家等を中心に協議会を設立し、各農家民宿が連携して受け入れる体制の整備を行うこととなった。

### 取組内容

- 農家民宿を核とした体験型教育旅行を受け入れている。田舎に出会うツアーのほか、SDGs体験プログラムの提供も行っている。
- 農業体験や、地元食材を活用した食育の推進活動を通じて、児童・生徒がさらに地元への愛着が高まる体験活動の取り組む。
- 海外の教育旅行生の受入のため、多言語やハラル等に対応するための取り組みを実施。

### 活動の効果

- 交流滞在人口・関係人口の増加により、地域経済の活性化に寄与している。
- 宿泊者の受入については地域ぐるみで行うため、地域全体で農家所得の向上に繋がっている。
- ビジットジャパンに参加し、日本の伝統的な農村文化体験ができる農家民宿を目玉に他国との文化交流を求める台湾の教育旅行等を誘致。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

吉備中央町は観光地でもない地域だが、農家民宿や農業体験プログラムを作り、訪れた人にとって、また会いたくなる町づくりに取り組む。